

## メソ数値予報実験システム（NAPEX）を用いた船舶GNSSの同化実験 Impacts of vessel GNSS data on the heavy rainfall forecasts obtained by JMA's mesoscale data assimilation system (NAPEX)

\*瀬古 弘<sup>1</sup>、小司 禎教<sup>1</sup>、堀田 大介<sup>1</sup>、小泉 耕<sup>2</sup>、幾田 泰醇<sup>2</sup>

\*Hiromu Seko<sup>1</sup>, Yoshinori Shoji<sup>1</sup>, Daisuke Hotta<sup>1</sup>, Ko Koizumi<sup>2</sup>, Yasutaka Ikuta<sup>2</sup>

1. 気象研究所、2. 気象庁

1. Meteorological Research Institute, 2. Japan Meteorological Agency

大雨に供給される下層インフローの水蒸気分布を改善することにより、降水予報の精度を向上させることが期待できる。ここでは船舶GNSSで得られた東シナ海の水蒸気量をデータ同化に用い、九州北部で発生した大雨へのインパクトを調べた。船舶GNSSのデータ同化により、東シナ海の水蒸気分布が修正し、九州北部の大雨の降水予報が改善する場合もあることが確認できた。さらにバイアス補正と正時に加えて15分前、30分前の観測値を加えた実験の結果から、より正しい可降水量をより多くの点で与えることが重要であることがわかった。

本研究は、「ビッグデータ同化とAIによるリアルタイム気象予測の新展開」（JST AIP JPMJCR19U2）、ポスト「京」プロジェクト重点課題4「観測ビッグデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」（課題ID: hp190156）の支援を受けたものです。

キーワード：データ同化、GNSS

Keywords: Data assimilation, GNSS